

契約変更理由書

神戸市

工 事 名	中央卸売市場本場冷蔵庫棟新築工事
契約変更後の工事概要	
<ol style="list-style-type: none">1 他現場への残土流用による土の運搬・処分の減2 鋤取り土量の追加3 情報共有システムの導入4 地中障害物発生による障害物撤去及び杭基礎形状の変更5 開口補強筋の取りやめ6 通水管の取りやめ7 汚泥処分の取りやめ8 申請に関する変更9 同敷地別途発注予定工事との工事調整による変更	
契約変更の理由	
<ol style="list-style-type: none">1 他工事への残土流用を行ったため、残土の運搬費および処分費が減となった。2 現地詳細調査の結果、設計時の地盤レベルと差異が生じていたため、鋤取りおよび残土の運搬費・処分費が追加となった。3 関係者協議の結果、工事関係書類のより効率よい電子化を図るべく、当初導入予定の無かった情報共有システムを導入することとなったため、導入費が追加となった。4 地盤改良杭および本杭打設中に地中障害物が確認され、地中障害物の部分撤去が必要となった。また、地中障害物と干渉しない場所に杭打設位置を変更したことから、2本の杭を支える基礎の形状も変更が生じた。 上記から、撤去費および基礎の材料・施工費が追加となった。5 施工者との協議の結果、地下躯体の通気管径を小さくすることとなり、開口補強が不要となったため。6 施工者との協議の結果、一部通水管が不要であることが判明し、取りやめが発生したため。7 地盤改良工事において、設計時点では汚泥が発生する工法を採用していた。 施工者との協議の結果、汚泥が発生しない工法を採用できることが判明し、汚泥処分が取りやめとなったため。8 建築申請手続きの結果、コンクリート強度・鉄骨仕様および壁・建具仕様に変更が生じたため、材料・施工費が追加となった。9 杭打設のための護岸撤去を、当初本工事で敷地全体(本工事および令和8年度発注予定の「中央卸売市場本場土物センター・大規模加工場棟新築工事(以下、加工場棟新築工事とする)」分)を施工する予定だった。加工場棟新築工事の見直し設計中に杭打設位置の変更可能性が浮上したため、加工場棟新築工事箇所の護岸撤去を取りやめとした。 また、当初本工事にて敷地東側に位置する外構工事を施工する予定だった。工程詳細調整の結果、外構工事と加工場棟新築工事の時期が重複することが判明した。 外構を加工場棟新築工事の工事で使用することから、本工事における外構工事が不可能であるため、取りやめとした。	

(公表様式第6号)